県立図書館通信

令和５年１月号
（令和4年 12 月末発行）

あけまして おめでとう！

県立図書館の新刊図書の中から高校生にお薦めの本を紹介します☆

『なんとかしなくちゃ。
青雲編』
恩田　陸/著
文藝春秋/発行
資料コード　116401993

「これは、梯結子の問題解決及びその調達人生の記録である。」大阪で代々続く海産物問屋の息子を父に、東京の老舗和菓子屋の娘を母に持つ、梯結子。幼少の頃から「おもろい子やなー。才能あるなー。なんの才能かまだよう分からんけど」と父に言われ、「商売でもいけるけど、商売にとどまらない、えらいおっきいこと、やりそうや」と祖母に期待されていた。その彼女の融通無碍な人生が、いまここに始まるーー。

『思い出リバイバル』
彩坂　美月/著
講談社/発行
資料コード　116400821

思い出をひとつだけ「再上映」してくれる不思議な存在、映人。過去を変えることはできないが、今の自分の視点でもう一度過去を見直すことができる。幸せだった頃を取り戻したい人、後悔にけりをつけたい人……映人に再上映を依頼する理由は様々だが、受けるか受けないかは映人なりの基準があったーー。幸せなものでも、苦しいものでも、自分にとって価値があって大切なものだと心から思えたら、きっと「これから」が変わっていく。

『光のとこにいてね』
一穂　ミチ/著
文藝春秋/発行
資料コード　116402173

彼女に惹かれたその日から、残酷な現実も平気だと思えた。ずっと一緒にはいられないと分かっていながら、一瞬の幸せが、永遠となることを祈った。どうして彼女しかダメなんだろう。どうして彼女とじゃないと、私は幸せじゃないんだろう……。運命に導かれ、運命に引き裂かれるひとつの愛に惑う二人の、四半世紀の物語。

『月の立つ林で』
青山　美智子/著
ポプラ社/発行
資料コード　116400524

長年勤めた病院を辞めた元看護師、売れないながらも夢を諦めきれない芸人、娘や妻との関係の変化に寂しさを抱える二輪自動車整備士、親から離れて早く自立したいと願う女子高生、仕事が順調になるにつれ家族とのバランスに悩むアクセサリー作家。つまずいてばかりの日常の中、それぞれが耳にしたのはタケトリ・オキナという男性のポッドキャスト『ツキない話』だった。

■編集■　佐賀県立図書館　司書ネットワーク課　図書館・司書支援担当（0952-24-2900）
◎この通信は県立図書館のHPにも掲載しています。本の検索もできます。
☞https://www.tosyo-saga.jp/
お問い合わせはこちらまで

＼県まなび課です／

高等学校ビブリオバトル県大会を開催しました！

ゲーム感覚でおすすめの本を紹介しあう知的書評合戦「ビブリオバトル」（個人戦）
12 月４日の第４回大会には県内７校の 11 名が参戦、熱戦が繰り広げられました

○最優秀賞（チャンプ本獲得者）
唐津東高等学校　２年　能美　日和　さん
紹介本『少女は夜を綴らない』逸木　裕/著

○優秀賞（準チャンプ本獲得者）
佐賀西高等学校　２年　本村　優衣　さん
紹介本『檸檬』梶井　基次郎/著

○敢闘賞
・鹿島高等学校　１年　朝永　葉月　さん
紹介本『麦本三歩の好きなもの』住野　よる/著

・唐津東高等学校　２年　松本　珠希　さん
紹介本『海の上のピアニスト』アレッサンドロ・バリッコ/著

※最優秀賞の能美さんは、令和5年１月22日に大阪府で開催される全国大会へ出場されます

県立図書館職員のいちおしの本

『夏の災厄』
篠田　節子/著
毎日新聞社/発行
資料コード　112154166

平凡な郊外の町に、災いは舞い降りた。熱に浮かされ、けいれんを起こしながら倒れる住民が続出。彼らは、日本脳炎と診断された。撲滅されたはずの伝染病が、なぜ今頃蔓延するのか？保健センターの職員による感染防止と原因究明は、後手に回る行政の対応や大学病院の圧力のために難航する。その間にもウイルスは住民の肉体と精神をむしばみ続け……。20 年以上前から現代生活のもろさに警鐘を鳴らしていた。戦慄のパンデミック・ミステリ。

県立図書館の本を あなたの学校で 借りることができます！！

県立図書館のホームページで読みたい本を探して、図書館(室)の先生に伝えると、直接学校の図書館(室)で借りることができます。

詳しくは こちら ↓↓

《本の検索》　《制度の紹介》